

貢川イレブン

貢川サッカー少の活躍は下記サイトをご覧ください
<http://www.print-man.jp/~kugawa-sc> kgw-staff@print-man.jp

第17号

発行者 貢川サッカースポーツ少年団

部会長 相川 英人 守
後援会長 守谷 祐三
代表 伊東 勝彦
監督 奥石 勝彦

印刷所: (有) 樋口印刷
<http://print-man.jp>



貢川サッカースポーツ少年団
監督 奥石 勝彦

○スポーツ少年団の本質
スポーツと呼ばれるものの大半は、勝敗を競う競技スポーツです。サッカーも競技スポーツですから、必ず勝敗がついて回ります。しかし、最終的な勝敗だけを目標にすることは、少年期の成長過程にある子供達には適切ではありません。

スポーツ少年団では、勝つことの喜びを味わい、負けることにより悔しさと反省することを経験するといった具合に、サッカーは子供達の成長の場であり勝敗は成果の一つにすぎないということがあります。私たち大人は認識しておく必要があります。

○クリエイティブでたくましい選手の育成
サッカーは一度ピッチ上に立つと、一つ一つのプレーは全て自分で判断しなければなりません。日本サッカー協会の指導方針では「クリエイティブでたくましい選手の育成」をテーマに掲げています。

要約すると、局面に応じたもつとも適切な判断・プレーができる選手であり、そのために豊富なアイデアを持ち、自分の確かな判断ができる必要があるということです。指導者に対しても「教えずに選手が考える芽を摘み取ってはいけません」と講習会などで教えています。

(ついつい教え過ぎてしまいがち)



子どもたちが主役・・・プレーヤーズファースト

- 子どもたちが主役のもの
- ・フェアプレー 試合相手や審判と一緒にサッカーをやってくれる仲間
- ・自立 試合や練習の準備、体調管理は自分で
- ・競争 チームメイトは仲間であり、よきライバルでもある
- ・克服 出来ない事に対し努力し、できるようにする
- サポーターの心構え
- ・できる限り時間をつくって試合や練習を身にいきたいと思います
- ・選手たちの判断を尊重しましょう
- ・レフリーの判定を批判しないようにしましょう
- ・試合では全ての子どもを応援しましょう
- ・試合後、楽しかったか、エキサイティングであったか聞いてみましょう

「一年間のあゆみ」

平成二十年後援会長

岡田 勇 治

私の息子が貢川サッカー少に入団したのは、二年生の時でした。

私も子供の頃、サッカーをしていましたので、心の中ではとてもうれしく思いました。

妻はサッカーの事は、全くわからない人で、最初は仕方なく子供の週三回の練習の送り迎えを続けていただけでしたが、今は私よりもサッカーが大好きです。

今、思い出せばいつの間にかサッカー中心の生活になっていました。

Aチームの人数が少ない為、四年生から試合に出してもらえる時もありました。

足の速い子、体の大きな子の中で、一生懸命頑張っている姿は、とても感動しました。

日々の練習をしていく中で、子供達の素晴らしい成長が感じられました。

昨年、三月、六年生とのお別れの卒団式を終え、新人戦の試合から少年団後援会の活動が始まりました。

一年間が風のように、瞬く間に過ぎ去っていったような気がします。涙あり、笑いありの親も子供と一緒に成長できた、



五月の愛宕山での合宿。子供達は仲間とのふれあいが、たくさん感じられた有意義な合宿だったと思います。

七月には、Aチーム両プロック大会優勝、Bチームスポ少大会の優勝と：こんな時、子供達には胸を張って、頑張った事をアピールして欲しいと思いました。

親としては、とてもうれしく、誇らしく思えました。

新入団生募集中

貢川サッカースポーツ少年団は、甲府市スポーツ少年団の理念に基づき、貢川体育協会の傘下のもと、活発な活動を行っています。

練習日:毎週水曜日・金曜日
午後5時40分～7時
毎週土曜日 午前9時～12時
団費:4年生以上……2,500円/月
3年生……2,000円/月
1・2年生……1,500円/月
(但し一家庭様500円の加算)

●連絡先
後援会長 守谷 守 223-3478
監督 奥石 勝彦 226-4171

入団説明会開催のお知らせ

貢川サッカースポーツ少年団では、下記の通り入団説明会を開催します。
新しく入団ご希望の方、及び在団生とその父兄の方々に、平成21年度の指導方針を前期、中期、後期に分けて取得する技術や戦術など、各学年別に説明をします。
また、平成21年度の予定なども併せて説明をします。
新規入団希望の方もこの機会に、是非入団の手続きをお願いします。

と き 4月18日(土) 午前10時40分～
と ころ 貢川悠遊館 入団希望者及びその父兄、在団父兄
(旧富東公園)

貢川サッカースポーツ少年団の活躍は、インターネットで見ることが出来ます
<http://www.print-man.jp/~kugawa-sc>
Email kgw-staff@print-man.jp

八月、暑い中頑張ったYBS杯。良い汗を流した子供達。九月に行った千葉遠征も子供も親もとても楽しく思い出深い一ページになりました。十月、あと半年のサッカー活動。(あと半年かあ!!と寂しくなる時期でした。)

「ついに来てしまったか：」と一年間を振り返りながら、頭の中で走馬灯のように色々な出来事が駆け巡りました。最後にありますが、監督はじめコーチの皆様、子供達がここまで成長できたのも皆様のおかげです。



又、子供達に楽しくサッカーを学ばせていただき、試合に勝つ喜びも教えてくださいました。感謝、感謝です。

「ついに来てしまったか：」と一年間を振り返りながら、頭の中で走馬灯のように色々な出来事が駆け巡りました。最後にありますが、監督はじめコーチの皆様、子供達がここまで成長できたのも皆様のおかげです。

学んだことでしょうか。これからの人生に活かしてやりたいと思います。一年間、ありがとうございました。

回員の声

貢川スポ少の思い出

富竹中一年 森川流 星

僕は一学年上の人にさそわれて、二年生から五年間サッカーをしました。

最初はあまりサッカーが好きではありませんでした。だけど練習していくうちに緊張もあまりしなくなり、ふつうに練習が出来るようになりました。そして大会にもいつばい出れるようになり、三年生のときスコレーカップという大会があり、苦戦しながらも優勝しました。その大会はものすごく思い出に残る大会でした。

次にトレーニングセンターという場所があり(トレセン)初めて行った時は、緊張していろいろな知らない人がいました。トレセンではうまく貢川と同じプレーが出来ませんでした。だけどやってみると友達も増えてなれてきました。最初Aチームだったのうれしくて試合もいっぱいありました。練習はむずかしかったけど楽しかったです。

四年生では合宿などがありました。合宿はみんな泊まったりするので楽しかったです。特に楽しみなのが夜の「ナイトハイク」でした。愛宕山なのですごく怖かったです。

です。

寝るときなどはなかなか眠れなくて皆と遊んでいました。合宿は四年間行って思い出にすごく残りました。

続いて五年生です。五年生のときは優勝は出来なかったけど、太志郎君たちとサッカーが出来て楽しかったです。

最後は六年生です。僕はサッカー部のキャプテンになりました。掛け声など練習も全部厳しかったです。初めての貢川の千葉遠征なので楽しかったです。バスの中ではざわざわしてその間にあつという間に着きました。千葉のチームはものすごく強かったです。

遠征では海にも行きました。波が強かったのであぶなかったけどおもしろかったです。夜はすぐに眠れませんでした。そして千葉の遠征は初めてだったので楽しかったです。

僕は中学校でこのチームでサッカーをやるのかと考えていたところ、監督が「ヴァンフォーレに行ってみろ」と言われて行ってみました。

試験が二回もあつてヴァンフォーレはきびしかったです。だけどがんばったおかげで受かりました。すごく喜びました。これも監督、コーチが熱心にサッカー

を教えていただいたおかげです。貢川サッカースポ少少年団に入つてよかったなあと思っています。将来の夢もがんばってかえりたいと思います。

監督、コーチ、後援会、友達全員に感謝したいです。

遠征の思い出

六年 角田 真帆

私の遠征の思い出は、五つあります。

一つ目は、海で貝を拾ったことです。貝は、大きいのも小さいのがあつて、大きいのはとてもきれいでした。

今度、もつと大きい貝を拾いたいです。

二つ目は、千葉のチームとやったことです。

千葉のチームは、小沢コーチが言つてたように、ガツガツきて

苦手なチームでした。

でも苦手なチームとやるからこそ、うまくなるので、千葉のチームと試合ができてよかったです。またやりたいです。

三つ目は、帰りのバスでやったビンゴです。

ビンゴをやつてるときは、とてもドキドキして、ビンゴになった時はとてもうれしかったです。またみんなでビンゴをやりたいです。その時は、良い景品を取つて、いっぱい遊び、楽しみたいです。

四つ目は、ミーティングの時です。コーチたちが、今の自分や、明日の自分を、プレーをして、教えてくれたので、とても分かりやすく良かったです。

分からない事や、今の自分や、明日の自分を、プレーをして、教えてくれたので、とても分かりやすく良かったです。

分らない事や、今の自分や、明日の自分を、プレーをして、教えてくれたので、とても分かりやすく良かったです。

また、けがをしないで帰つてくれたことは、とてもよかったです。山梨についた時は、少しうれし

編集後記

イレブン新聞は平成四年に第一号を発行しました。それから毎春に一年間の締めくくりと新たな活動準備のために発行を繰り返してきました。

当時から団員の減少など危惧した記事がありますが、こうして今まで活動して来れたのは地域の皆様方のお陰と衷心より感謝申し上げます。今後とも貢川サッカースポ少をよろしく願います。



サッカーを通して！

指導者 塩野 正春

貢川サッカーの指導者として早8年目を迎えました。私自身ここまで長く(私にとっては)指導者として係わりとは思っていませんでした。お蔭様であつたという間に年をとつてしまひました。(笑)

ここまで続けられたのは理解ある後援会の方々、指導者に恵まれたこと、そして何よりも子供達のキラキラした目だと思つています。週末の時間は練習試合で年間を通じて休みは何日もなく正直、年とともに疲れもたまりませんが仕事のストレスから解放されることも多いような気がしています。ということで気持ちも新たに今年度もがんばつて行こうと思つています。

ところで、この歴史ある「貢川イレブン」を多くの皆さん(サッカー関係の方々、スポーツが好きなた方々、子どもに何かスポーツをさせたいと思つている保護者の方々、それから学校の先生...)が読まれることを願いつつ、スポ少の魅力或少しアピールしたいと思います。

近年、少子化の影響から貢川小の児童数も少なくなつてきているようですが、スポーツがしたい子供、スポーツをさせたい保護者の方は以前と変わらなかつた

んいると思ひます。しかし、スポーツはさせたいがスポ少活動は大変だから...とためらつている保護者の方もいらつしやるのではないのでしょうか?保護者の皆様、子供さん達が将来社会人となつた時、団体競技で学んだ事はとても大きな糧になると思ひます。みんな喜びや悔しさを分かち合い、目標に向かつて共に努力する、ゲームやパソコンではこんな大事な経験はできないですよ。

サッカーはチームスポーツとしていろいろなことを学ばせてくれます。

協調性、忍耐、努力、積極性、感謝、仲間、組織 etc... これらの事は感性豊かな小学生の年代の人間形成においてとても重要ではないでしょうか。

貢川サッカーはスポーツ少年団として、地域の皆さん、後援会の皆さん、我々指導スタッフ等、多くの方々の熱い気持ちによって支えられています。

大人になつてしまつた私達、若くエネルギーな子供達と一緒に素晴らしい経験を共有し、もう一度熱くなりませんか!



大好きな貢川小サッカー部

中央大学一年 石川 玲

私が貢川小サッカー部を卒団して、七年がたちます。

私がサッカー部に入ったきっかけは、四年生のときに友達に誘われて練習の見学に行き、ボールを借りてリフティングをしてたつた数回できたことでした。

幼い頃から外で遊んだり、走つたりすることが好きだつた私は、すぐにサッカーが好きになりました。

女の子がサッカーなんて、と反対していた母を説得してサッカー部に入団しました。その時期がちょうどゴールデンウィークの直前だったため、初めての練習参加は毎年恒例でゴールデンウィークに行われる合宿からでした。

初めての合宿では、初めての足の裏に大きなまめができるほどたくさん走つたこと、友達と一緒に数日を過ごすこと、監督やコーチに様々なことを教わつたこと、上級生や下級生の友達ができたことなど、忘れられない経験をたくさんしました。

学年が上がるにつれ、男の子と体つき、体力的に違いが出てきたり、試合で他校の人から女の子がいると驚かれたりすると、負けるものかと、意地になり、練習でも楽しさより上達を意識するようになりました。

足手まといにはなりたくない、むしろうまいねってほめてほしい、試合で活躍したい、と思うようになりました。

でも、試合で思うようにできず悔しいと思つたことや、悲しくなることもありました。しかし最後までサッカーを続けていて良かったと心から思つています。

六年生最後の大会、最後の試合で私がPKをきめて勝つたこと、あの時の瞬間は今でもはつきりと覚えています。最後までやり遂げた後には必ず何かが残ると思ひます。

たくさんの思い出、出会い、目標をもつことの大切さ、最後まで諦めない気持ち、など今の私自身を支えている原点は貢川小サッカー部にあると思ひます。

私は中学受験をし、当時のチームメイトとは違う中学に進学したため、小学校を卒業して以来会う機会がなかった仲間もいましたが、先日のお正月に行われた初蹴りに参加して再会し、一緒にサッカーをしました。

私は卒団式で、「みんなとは違う中学に行きますが、またいつかみんなでサッカーをしたいです」と言つたことを思い出しました。

私は監督やコーチを含め、大人になつてもサッカーができる仲間を貢川小サッカー部で得ることができたと思つています。

最後に、今小学生の体力低下が問題視されていますが、私の場合は家にいるより外で遊び、サッカーをすることが好きでした。だから、より多くの小学生が貢川小サッカー部に入って、サッカーを好きになり、活発的になつてほしいと思ひます。そこで多くの仲間や監督、コーチと出会い、たくさんの素敵な経験をしてほしいと思ひます。